

会 議 録

かわにし事業ディスカッション2014（第4回）

開催日時	平成26年12月21日(日) 午後2時10分から午後3時10分
開催場所	川西市役所 7階 大会議室
内容	小学校運営事業の施策反映への経過報告
出席者	コーディネーター 清水 万由子
	メンバー (公募市民) 大塚 千恵子 岡田 忠純 小牧 満也 杉浦 一郎 藤本 美穂
	オブザーバー 石田行政経営室長
	市職員 森下総務調整室長 上中学校教育室長 籾内教育総務課長 溝上教育総務課主事
事務局	総合政策部 行政経営室 経営改革課 (内線：2110)

会議経過

発言者	発言内容等
<p>コーディネーター</p> <p>市職員</p>	<p>時間になりましたので、小学校運営事業を始めさせていただきたいと思います。</p> <p>では、先ほどと同じように施策への反映状況を担当課から説明ということで、お願いできますでしょうか。</p> <p>ゲームを用いた環境学習についてです。まずゴミ問題などの環境学習をより充実させていく、そして教育活動全般をとおして教職員の共通理解を得て、ごみの減量化など、学習環境の充実努めます。</p> <p>また、学級活動や生徒会活動、体験学習などあらゆる機会を通して、子どもたちが楽しく興味をもてるような学習の工夫に努め、環境美化意識の醸成を図り、限りある資源の有効活用について様々な学びをとおした中で、育成に努めてまいります。</p> <p>次に、コミュニティの活用についてです。備品管理につきましては、教科担任をはじめ、学校には教員の役割分担があり、各役割分担の管理責任というものを明確にして、管理体制を確立することによって、学校の先生方の組織体制というものがきちんと機能するように周知を図ります。</p> <p>また、不要品の処理や活用につきましては、PTAとの連携協力を図ります。学校、幼稚園の教育環境の美化につきましては、コミュニティの支援を十分に活用して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>続きまして、バザーの開催についてです。学校、家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみでゴミ問題に取り組むことによって教育活動を充実させる視点はとても大切だと考えています。しかし、学校開放は日程の調整、運用方法、施設の管理面、安全面などの課題があります。これらの課題解決にむけて、関係の方々との調整を図りながら検討していきます。また、リユースについては、できるものはPTAと協力していただきながら、検討していきます。</p> <p>次に、環境コンテストの開催です。美化推進課が所管しているごみ学習会や、ごみ減量ワークブックを授業に活用して、ごみ減量化に向けて身近な課題の取り組みの1つとして検討していきます。</p> <p>次に、持ち込み物等への名前の記入です。ここににつきまして、個人の所有物は必ず名前を明記するように、引き続いて指導を継続していきたいと考えています。</p> <p>続きまして、不要品のリサイクル情報の提供についてです。使用可能な不要品のリサイクル情報を様々な方法で市民に周知する。以前に、学習塾や店舗などを開設しようとする人に情報が届くようにするという意見をいただきました。私どものほうといたしましては、美化推進課が毎月1回発行していますリサイクル情報誌り・ぼ・んがあります。このようなものを利用して広く市民の方に情報提供ができればということで検討していきます。</p> <p>ただ、危惧していることは、譲渡したものがそのまま使われることなく、ごみの扱いになってしまうようでは、本末転倒になりますので、そこらをきっちりと利用していただけるような形をお願いしていかなければいけません。そこを周知徹底していく必要があるのではないかなというところが懸念材料ではあります。</p> <p>続きまして不要品の事業者への引き取りにつきまして、よく見受けられる粗大ごみの日に回っているごみの収集業者もありますので、ごみの中でも有価物のような資源になるものは、売却していったらどうだというような意見をいただきました。こちらにつきましても、学校からごみとして事業者へ譲渡するということが自体が最初に説明させていただいたように法的な限界があります。ごみとして出すからにはマニフェストを発行</p>
<p>市職員</p>	<p>続きまして、不要品のリサイクル情報の提供についてです。使用可能な不要品のリサイクル情報を様々な方法で市民に周知する。以前に、学習塾や店舗などを開設しようとする人に情報が届くようにするという意見をいただきました。私どものほうといたしましては、美化推進課が毎月1回発行していますリサイクル情報誌り・ぼ・んがあります。このようなものを利用して広く市民の方に情報提供ができればということで検討していきます。</p> <p>ただ、危惧していることは、譲渡したものがそのまま使われることなく、ごみの扱いになってしまうようでは、本末転倒になりますので、そこらをきっちりと利用していただけるような形をお願いしていかなければいけません。そこを周知徹底していく必要があるのではないかなというところが懸念材料ではあります。</p> <p>続きまして不要品の事業者への引き取りにつきまして、よく見受けられる粗大ごみの日に回っているごみの収集業者もありますので、ごみの中でも有価物のような資源になるものは、売却していったらどうだというような意見をいただきました。こちらにつきましても、学校からごみとして事業者へ譲渡するということが自体が最初に説明させていただいたように法的な限界があります。ごみとして出すからにはマニフェストを発行</p>

発言者	発言内容等
	<p>して、最終的に処分されるまで責任を持たなければなりません。そこらあたりはきちんと法的なところに触れない、抵触してないようというところを考えながら行っていく必要があるだろうと思います。そうすると各学校に任せるより事務局で集約していく方法を取らざるを得ないだろうということで、引き続き、費用対効果についても検討しながら考えていきたいと思っています。</p> <p>続きまして情報公開です。学校のごみ問題も情報公開して市民へ理解を求める。また、校長会、教頭会で、具体的な実態と改善方を周知し、各学校で備品管理の徹底を呼びかけ、他市での取り組みについて情報共有するという意見をいただきました。こちらにつきましては、年間2回ほど広報誌の中に川西の教育の状況について知らせる冊子を挟み込んでいます。その中でごみ問題について記事を掲載したり、保護者に向けた啓発チラシを配布していくなど、多くの方に学校の状況を伝えていきたいと思っています。</p> <p>また、ごみに関する情報とか、課題に向けた取り組みについても引き続き、校長会、教頭会で周知徹底を図っていききたいと思っています。ディスカッションを通じて、行政のほうとしまして、これまでは何で出るのだろうと不思議に思っていたごみの中にも、考えてみましたら授業をする上で、必要な物もあるのではないかと。具体的に言いますと、「タイヤがなぜ出てくるのか」というような話になったと思います。十分に備品購入費もありませんので、先生方が工夫されて、マット代わりに部活のときに敷いて使っている話を最近聞きました。本来、そのようなものを公費で購入することができればいいのですけれども、大変高価な物になります。工夫して使われているのであれば、授業から出てくるごみであるということには間違いないので、計画的に処理していく必要もあると思います。そこらあたりを校長会、教頭会を通じて、ごみの発生する原因とかいうものも調査対象にし、計画的に処理していくことができるのではないかと。そうすると、予算化も可能になってくるのではないかとという気づきの部分もありましたので、そのような取り組みも進めていきたいと思っています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございました。では、皆さんのほうから経過報告について、もう少し詳しくとか、ここはどうですかというような質問があればお願いしたいと思います。</p>
市職員	<p>環境コンテストの開催、不要品のリサイクル情報の提供は、ごみの減量を担当されている課と連携して、学校もその対象としてきちんとやりましょうという理解でよろしいですか。</p> <p>そのような形で、ごみ学習会、出前講座、小学校にも出て行っていますので、依頼があればワークブックに沿った形での話をさせていただきます。また、ワークブックにつきましては、小学校4年生に配付していると聞いています。教育と美化とタイアップして、ごみの減量学習の充実を図っていけばもっと減量化が進むようになると思います。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございました。ワークブックは、既に授業の中で何か活用されているのでしょうか。</p>
市職員	<p>教科授業として固定するのではなく、特別活動とか、総合的な学習とか、体験活動などの機会を通して必要に応じて使用しています。</p>
コーディネーター	<p>使い方というところは、学校といたしますか、先生に任せるといっていいのでしょうか。</p>
市職員	<p>そのようになります。教育活動の状況に応じ活用させてもらっています。</p>
コーディネーター	<p>そこに、学校のごみということについて考えてみようとか、そういったこともちょっと取り入れていただくようなことも可能ですか。</p>
市職員	<p>自分たちの身の回りということも、環境という面では非常に重要なことだと思いますので、取り入れるように学校と連携を図ってまいりたいと思っています。</p>
コーディネーター	<p>ぜひそういう体制にしていいただければと思います。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	リサイクル情報誌り・ぼ・んを初めて知りまして、冊子があるという自体の広報はどのようにされていますか。
市職員	私は以前、美化推進課にありましたけども、広報紙掲載という具体的な形ではしていません。
メンバー	いい冊子なので、ちょっと広まったらと思います。
市職員	それは美化のほうにも伝えておきます。
コーディネーター	備品管理については、教科担当及び分掌担当などの管理責任を明確にするということですが、なかなか今までは難しいということだったと思います。もう少し意識的にやろうというときには、どういう方法でされるのかわかる範囲で教えていただけたらと思います。
市職員	教育委員会からは、基本的には校長会等で、情報提供や活用の詳細について管理職にお願いします。そして、各校の校長から教員に、再確認とともに周知徹底して、進めてまいります。
コーディネーター	ということは、調査をするというか、きちりできていますかということ確認するというようなことですか。
市職員	備品につきましては、備品管理台帳でチェックしてもらおうということです。特に、教育委員会からそれを提出してくださいというようなところはないですけども、そこは、適正にできているかどうかについて、教育委員会のほうから校長会を通じて話を進めていきたいと考えています。
市職員	少し補足させていただきます。備品管理については、前々から言っていますように、1万円以上のものについては、すべて報告してもらい、台帳も同じ物を共有しています。それ以外に、持ち込まれた分であるとか、1万円未満の部分というところをきちりと学校で管理していただけたらということで、そこはコンスタントに校長会、教頭会を通じてお願いするしかありません。
コーディネーター	備品の管理体制が、それぞれの学校の中できちんとなされているかということが問題だと思います。もちろん台帳があるとかいうことは当然されていると思いますが、校長会で校長先生、あるいはほかの職員の先生に言っていただくという、投げる一方ではなくて、何かちゃんと確認しましたみたいな、そういうチェックみたいなことがあるのかとか、何かむしろそれがいいかどうかかわからないですけど。
市職員	ご指摘いただきましたような細かな報告システムというのは、今はしていません。あくまでも管理は、学校長の責任のもとでやってもらうというようなところなんです。先ほど申しましたように、1万円以上の備品管理につきましては、共有しておりますので、しっかりしているところですけど、それ以外の部分も、公費を使って購入しているわけですので、教育委員会のほうから指導助言していきたいと考えています。
コーディネーター	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。どんな点でも結構ですけども。
メンバー	ちょっと単純なところで伺います。教科は担当が多分わかりやすいですけども、それ以外というものの管理というのは、何か各担当、分担というのは、各学校に決まっていたりするのですか。何か曖昧になっているところがもしかしたらあって、それは各学校に任せるのでしょうか。
市職員	校務分掌のことでしょうか。各学校によっておおむねは同じような分掌になります。名称が少し違っているかもしれませんが、例えば進路指導、それから清掃・美化、部活動とか、様々な担当がありますので、そのように役割分担決めています。
メンバー	わかりました。ありがとうございます。そういった場合に、各部署に入らないところというのは、出てこないものなのかなというのがちょっと。

発言者	発言内容等
市職員 メンバー	<p>部署に入らないということですか。</p> <p>はい、つまり部活動なのか、進路指導とか、学校内で起こることなので、それ以外のところというのが出てきたりしないものかなというのがちょっとあります。</p>
市職員 メンバー	<p>基本的には漏れるということはなく、全部その分担はあります。</p> <p>すべての先生方はどれかの分担に入っているということですね。わかりました。ありがとうございます。</p>
コーディネーター	<p>なかなか学校の仕組みというのは、ちょっとイメージしづらいところですが。いかがでしょうか。</p>
市職員	<p>そうしましたら、私のほうから環境学習の提案と言いますか、アイデアが出ましたけど、具体的に何かこういう教材開発みたいなことというものはどこでされるのでしょうか。教育総務課で主導して予算を立ててやっていかれるということなのか、それとも学校ごとで先生がされるということなのか、どうですか。</p>
市職員	<p>ゲームを使ってということで、こちらのほうからは学校でこんなゲームがあっとうしていただきたいというようなことは、考えていないです。子どもたちが学習する中で、子どもたちが興味を抱いてくれるような、導入の部分でゲームというようなことを学校として、あるいは担当のほうで考えられていることと思っています。子どもたちには興味づけというところが非常に大事ですので、導入の部分でいかに興味を持たすか。そこから学習が発展していくと考えています。</p>
コーディネーター	<p>学級活動や児童会活動、体験学習などというあたりがきっかけになるのですか。</p>
市職員	<p>はい、導入になるかもしれませんし、体験活動をする手前に興味づけと言いますか、導入の部分も入ってこようかなというふうに思っています。</p>
コーディネーター	<p>そういったことは、校長会とかでの呼びかけというか、お願いするとか、そういう形で進めていくということでしょうか。</p>
市職員	<p>この辺は、基本的には、それぞれ学校には担当がいますので、そこで様々な方法を考えて導入していただくということですので、先生たちが研修研究を行い進めていくという部分と思っています。校長会等で、ゲームで導入ということにつきましては、あまりそういう部分までは入っていかないかと思っています。</p>
コーディネーター	<p>ちょっと私だけの感想かもしれませんが、ディスカッションした内容とか、アイデアというのもすべて全部実現できるものばかりでないと思います。どういうふうに学校の現場で具体化されて、実現されていくのかということところがちょっと具体的にイメージがしづらいという印象をちょっと受けますけども、教育総務課でアクションとしてどういうことをされて、それが何につながっていくのかということところです。</p>
市職員	<p>管理部門のほうから言えることとしまして、指導の仕方とかいうところに意見が多いと思いますが、違う管轄になりますので、何度も申し上げにくいですが、ごみ関係につきましては、この発端は学校から出るごみというのは、家庭から出るごみとは違う。同じものでも産業廃棄物の分類になり、違った手続きが必要になってきました。それでコストがかかりますというところからの話をさせていただいていたと思います。そこらを多分、知らない家庭、それから地域の方ですけども、当然学校の先生方も知らないというところに、今現状置かれているというところから考えると、今回資料として提供させていただきましたグラフとか、このような経緯でこういう状況なっていますけども、毎回口頭で、校長会、教頭会で、話はさせてもらっています。実際、資料とか視覚的なもので先生方にも見ていただけるようなものを作成しまして、意識改革から始めていけたらなと思います。実際これだけのお金がかかってしまい、これが削減できたらたくさん備品が学校のほうで購入していただけるようになるというようなところから、</p>

発言者	発言内容等
	<p>そこから先生方がこれはちょっと生徒たちに注意して心がけてもらったら、もしかしたらコスト削減につながるかもしれないというところから始めていく必要があるというところ。それが、そういったところから各学校のほうで、どれだけ取り組んでいただけるかというところはやっぱり少し温度差があると思います。徐々にでも周りからそういった環境に取り組むというような形になれば、この学校ではこんな取組をされていますということを伝え、あそこではあんなことをやっているとかいうことで、どんどん広がっていくような形に持っていけたらというふうに考えています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。とりあえず、現状認識を共有するというのと、各学校での取組みに任せるとするか、やっていただくしかないわけですが、その取組んで頑張っているところがあれば紹介して行って、もっとお互い取り入れてもらうということですか。</p> <p>あと、調査をされるということだったかと思いますが、学校でのごみの発生原因どこから出てきているのかということをして1回少しきちんと調査をしていただくということです。</p>
メンバー	<p>ディスカッションの概要ですけども、わかりづらいところがあるということは何度も話をさせていただきました。経過報告自体は、これからやっていきますというようなことで、そのようにしていただけたらと思うところではあります。何て言いますか、この施策に対して、目的がこうだということを付け加えと、そこをちゃんとと言わないと、本質がわからないと思います。例えば、個人の所有物に必ず氏名を明記するように、引き続き指導を継続していきますということですけども、これだけ単純にいつも言われていることですから「あたり前ですね」みたいなことで終わってしまうと思います。この趣旨は何なのか、持ってきた物の所有の管理責任者を明らかにして、あなたがちゃんと物が処分されるまでの間、管理して処分されるまで責任を持ってくださいという意図で恐らく書いています。その辺をはっきり示していかないと、わかりづらい問題なのではないかと思、不要品の処理や活用ということで、地域のコミュニティの方の支援を活用しながら、あるいはバザーで不要品を活用するということであっても、これは恐らく買うよりもリサイクルするほうが初期投資は少ないかもしれませんが。管理費であるとか、あるいはその処分まで、そのものの一生ということを考えてときに、どちらのほうがコストであり、手間とかがかかるのかということまできっちり考えた上で、環境にとっていいのかということまで踏み込んで考えるというような前提がないと、皆さん基本的に善意で動いていただくと思うので、そこがずれると全然意図せざる方向に進んでしまいそうなことではあると思います。そのあたりを付け加えていただけたらと思います。</p>
コーディネーター 市職員	<p>ありがとうございます。何か言うことがあれば。</p> <p>指摘いただいたところは、本当にそうだなと思っています。そのあたり環境教育につながるようなこととか、それぞれの責任を持つという意味、そういったこともまた検討といいますが、また考えていきたいと思っています。</p>
オブザーバー	<p>前回も話しましたが、多分備品を購入する時に、処分のこともセットで恐らく購入ということが必要になってくる。多分そのときには購入するとこれはどんな手続きで最終的には処分するのか。そのときのコストがどのくらいかかるのかというの、あらかじめ購入時に把握をしておくことというのが必要です。ただ、費用は市役所の予算は単年度で、費用をちょっと置いておくというのはなかなか難しいですけど、せめて購入時にその処分時のコストがどれくらいかかるというのは、あらかじめ出しておくのが必要だと思います。それと、教職員も異動してしまうと、その方は覚えていたけど、</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター 市職員	<p>ほかの人は覚えてないということもあるので、それをどこかに購入時に記録しておくことが必要です。それは先ほど出てきました備品の管理台帳になるのか、またそれ以外の物になるのかは別として、購入したときにその処分時どこかに記載しといて、その購入した人、かかった人がどこかにいってしまっても、あとで見た人がこれはこういう手続きで、これぐらいのコストをかけて処分を、一番いいのは、使用可能期間ぐらいは大体わかればいいですけど、どのぐらいの時期にそういった費用がかかるというようなところまである程度把握する必要がある。それは備品だけなので、それ以外の物品については、それぞれ学校のほうであまりややこしい形になるとそれは持続しないので、初めは簡単なやり方から進めるのがいいのというふうには思っています。</p> <p>ありがとうございます。いかがでしょう、今のいろんな案については、 本当に、購入したときに、処分のときには、費用がかかってくる場合もありますので、しっかりと購入時に考えた中で、購入したからには有効に使えるようにというところではしっかりと押さえていかなければならないところだと思っています。それから、ご指摘いただいたように、人事異動があります。当然、業務の申し送りは行われていますが、引継ぎによってわからなくなり、責任の所在がどこになっているのか曖昧なことになっては、あってはいけないことです。その対応策としてきちんと記録を残していくというようなことも確実にしていかなければならないと思っています。また、そういうところも気をつけながら教育委員会としてもそうですし、また学校現場においても、注意していきたいと考えています。</p>
コーディネーター メンバー 市職員 メンバー	<p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。 教育総務課のほうで把握しているかわからないですけど、小学校から社会見学で、国崎クリーンセンターに行ったりするようなことはあるのですか。 環境体験活動ということで、国崎クリーンセンターを利用させていただいています。 何かせっかく市内の近いところに、私も3カ月に1回ぐらいフリーマーケットを出すのに行きますけども、幼稚園の子どもでも行って帰ってきたら、もう家でリサイクルのマークを見て、パパが間違えてペットボトルをごみ箱のところに捨てていたらこれはリサイクルだからとか言っているの、せっかくある施設なので、有効に活用していったらいいのではないかと思います。</p>
コーディネーター 市職員 メンバー	<p>その際は、学校ごとということになるかもしれませんが、いかがでしょうか。 小学校3年生が環境体験活動というので、兵庫県教育委員会の事業ですけども、市内の小学校が取り組んでいます。やはり、国崎クリーンセンターの中でどういうことが行われているのかということも、子どもたちには体験をとおして知ってもらいたいと思っています。ただ、平日に行きますので、フリーマーケットとか、そのような場面には出くわしたことがないです。 開催は土日ですので、何かクリーンセンターと学校でできる範囲になると思いますけど、タッグを組むことで各担当の先生とかに、生徒の興味にあうゲームとかを考えていくのも1つだと思います。クリーンセンターに行ったときに、子どもたちで何かそのあとにでも事後学習で、自分たちでゲームをつくるような体験をするとか、そういったところにせっかく行っているのであればつなげていくと、よりそこに達するまでの時間が短くなるのではないかと思います。</p>
市職員	<p>事前学習とか、体験したあとに事後学習というのがありますので、事後学習の仕方については、例えば班になって、自分たちが体験したことを大きなレポート用紙みたいにまとめたりしながら、掲示したり、それから参観日で発表の場みたいな形で活用していきたいと考えています。</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター メンバー	<p>ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。</p> <p>小学校運営事業というか、今回、議論をさせていただいたのは、ごみ問題ですけども、実際検討しているところでは、総論として私の社会生活上の経験で、例えば管理台帳であるとか、一般論としての話はできて、いざ各論の中でまとめていただいて具体的な中ではもう50年近く前に私が学校生活をやっていたわけですから、なかなかそうかなと感心するだけで、意見というか、考えを述べるということまで至らないのが現実です。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。確認ということで、小学校運営事業に対する課題解決策として5点挙げています。先ほどのやり取りの中では、例えばゲームとか、そのバザーとかというのは、やっぱり実施する上で各学校の事情もありますし、なかなかすぐにやりましょうということにはならないというようなことだったと思います。教育総務課として、今後この事業を改善するためにされると言いますか、とるアクションということで、先ほど、現状資料の作成をして、各学校にこういうことがあるということをもまず理解していただくということがありました。</p> <p>それから、もし何か取り組みをしている学校があればそれを紹介するということです。そのような情報はどのように把握されるかということと、それから発生原因の調査もされるということで、教育総務課でされると思います。それ以外に、教育内容の教育によるアプローチと言いますか、環境教育面でこの問題をどのように改善していくかといった点であるとか、備品管理体制を具体的に各学校でどう整えていくかという点について、教育総務課ではどういう具体的なアクションをされていくかというところを少し具体的に考えがあれば聞かせていただきたいですが。</p>
市職員	<p>既に今月の教頭会のほうでもその調査については、年度末に向けて依頼させていただきました。ごみについても現在契約している分というのは、オーソドックスな種類だけになっています。各学校、特殊な物が出てきている部分についてはまだ学校のほうで保管しておいてくださいというような形をお願いしていましたので、そういったものを調査させていただく際に、なぜそういったものが発生したかまでお尋ねしますので、そこら辺は少し協力いただきたいということで、実際にもう動き始めています。今年度、産業廃棄物の処分を単価契約しているということで、数量もどれほど出てくるかわからないというところから始まっています。1年経過して、ある程度の数字が出てくるかと思えますので、そこらあたりを今後の検討課題としていききたい思いもありますし、今年度の予算残額を考慮しながら、できるだけ処分していきたいという思いもあります。実際に、数字が出てこない、資料も作成できませんので、次年度以降、数字として少し説得力はないかもしれませんが、学校ごとは無理でも、大体、小学校、中学校でどれくらい出ているとかいうところを示しながら、契約状況等もお知らせできればと思います。あと気になっているところは国崎クリーンセンターでの学習についてですが、一般の家庭ごみと学校のごみの扱いが違うので、子どもにいきなり説明すると混乱するのかなという不安があります。ですから、そこらあたりはまずは学校の先生方のほうからきっちり周知徹底させていただけたらなというふうに思っています。その辺で1年、2年はかかるのではないかと思います。実際の数字を示しながら、草の根活動ではないですが、徐々に意識を醸成していければと思っています。学校自体がそのようなになってきますと、自ずとごみを出さないようにしようという意識に繋がれるのではないかと思います。先ほど話の中で、本当に周りの方、地域の方も含めて、皆さん善意で動いていただいているというのが1つあり、その善意の結果、不要品だけどもまだ使えるということで、学校に持ち込まれているというようなところもありますので、そういったところ</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>も少し先になるかもしれませんが、意識改革ができたかと考えています。</p> <p>ありがとうございます。なかなか1年、2年では解決できないことだと思いますので、まずは発生状況、現状、その原因の調査というところから始められるということで、そこは既に動いているところもあるということです。</p> <p>現状がわかったところで、どのように個別に動いておられる現場の学校とうまく連携して、市全体の課題として学校それぞれで取り組んでもらうかというところの何かハードルが高そうな感じもします。</p> <p>先生方の教育というのは、先生方に対してまずはこの物の管理というのか、ちょっと学校という特殊な場での物の管理について理解をしてもらうところから始められるということだったのですが、最終的には子どもへの教育と、そこを連動させていきたいということが最初のほうでは問題意識として持っていたと思います。そこは、将来的にはどうしたらいいかということもあると思うのですが、そういう教材の開発とか、教育プログラムの開発みたいなことは一体どこでされているのかというか、そういうことは今後可能なかどうか、どうなのでしょう。お任せするというだけではちょっと弱いように思うのですが。</p>
市職員	<p>まず、ごみの減量化から環境教育というところに意識を変えていかなければならないと思っています。子どもたちには物を大切にする。自分たちが使ったところをそれはきちんと掃除をしましょうと指導し掃除をさせる。自分の物は自分でちゃんと管理しましょうという責任感を持たす。そういったところが大事なところと思っています。</p> <p>それから、教材の開発ということですが、まずは先生方にも研修研究をしていただいて、それでいろいろな情報や知識や指導方法の引き出しを持っていただき、子どもたちに環境というものに興味を持ってくれるような進め方の工夫をしてもらいたいと考えています。</p>
コーディネーター メンバー	<p>先生方を対象とした研修ということで、わかりました。ありがとうございます。</p> <p>どうしても学校内のことなので、イメージが湧きにくいところが強くて、あまり何も言いづらいところがあります。ぜひ先生の研修、どんな方が指導されるかにもよりますが、物の管理は、主婦からすれば、家の掃除であり、それだけを特集した雑誌はものすごく部数売れるというぐらいですので、物の管理責任、所在は誰のものなのかというのは、明確になっていますけども、難しいことだと感じます。小学校運営事業で印象に残っているのは、外装を塗ったときのペンキがどこの部署になるのかという、先ほど言いたかったのは、教科はわかりやすいですけど、わかりにくい物も中には出てきて、それがどこの部署のものになるのかということになるのではないかと思いますので、そういうことも含めて研修すれば、ぜひ私も受けたいなと思いつつ話を聞いていました。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。学校のごみ問題というか、備品管理的な問題というのと、その物を大事に使うとか、自分の物はきちんと管理するとか、そういう意識面とか、一般的な話というのは、別ではありますが多分つながっているという車の両輪みたいなところがあり、学校内でそのごみがどのようになぜそのペンキとかいうのが発生しているのかということ、まずはきちんと調査されるということがとても大事だと思います。もう一方では、やはり子どもたちに学校のごみということだけではなく、物とどうつきあうかみたいなところを根本的なところから考えられるような教育のプログラムとか、教材とかいうことも開発されるというか、研修を行い多分小学校の運営だけではなく、環境教育全般にとってすごく大事なことだと思います。それはどちらが先というか、両方念頭に置いて進めていただければいいのではないかと思います。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>学校から出るごみが産業廃棄物になるというのは、川西市だけに限ったことではないです。多分、全国でかなり震撼していることだと思います。それが生徒であったり、親であったりは全く知らない中で、市役所の担当課の方だけが非常に頭を抱えているみたいな状況で、ただ、今までが法の抜け穴みたいな感じで、その学校にごみを持ち込めばそれが最終処分場みたいな感じの実態もあったと思います。非常に環境にとっては大きなインパクトを与えることに多分なるのだらうと思いますけども、それを知らせていかないと、またその担当課の方だけが困っているというような状況であれば全く効果がないわけで、うまく伝えていっていただけるように、責任分担じゃないですけども、みんなでその責任を負っていくようにうまくしていただけたらと思います。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。本当にそのとおりだと思います。特になければ小学校運営事業の経過報告及びそれについては、ディスカッションはこれで終了とさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>